

令和8年度 DX人材育成 資格取得プログラム実施業務 審査基準

審査項目		審査基準	配点
業務遂行能力	(1) 業務理解度	本業務の目的、趣旨を十分理解した提案を行っているか。	5
	(2) 業務実績	同様の業務を実施した実績があり本業務の成果を期待できるか。	5
	(3) 実施手順	業務のスケジュール、手順は適切であるか。	5
	(4) 実施体制	業務内容を実現するための適正な実施体制が具体的に示されているか。	5
企画提案内容	(1) 業務の実施準備	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務全体を確実にを行うための自社の体制が具体的かつ明確に示されているか。連携先事業者がある場合、その事業者との役割分担・実施体制が具体的かつ的確に示されているか。 ・調整すべき関係機関等との調整方法が具体的かつ的確に示されているか。 	15
	(2) 資格取得プログラムの企画及び実施	<ul style="list-style-type: none"> ・講座内容はSalesforceの概要、活用場面及び基本操作に関する基礎知識の理解を促すことを目的として、「Salesforceの概要及び活用事例」「基本用語及び画面構成の理解」「業務での活用イメージに関する解説」を盛り込んだ内容となっているか。 ・年間スケジュールは学校行事、検定試験、長期休業期間等を考慮した無理のないものとなっているか。 ・原則対面形式で実施する想定となっているか。 	20
	(3) 資格取得に向けた学習支援	<ul style="list-style-type: none"> ・Salesforceが提供する学習コンテンツや、受託事業者が用意する動画教材等を活用し、受講者が計画的に自己学習を進められる環境を整備できているか。 ・Salesforce認定 Platform基礎資格取得に向け、過去問題解説、模擬試験等を活用した試験対策支援を行う計画となっているか。 ・受講者の学習進捗状況を把握し、必要に応じて助言・フォローを行う体制が整備されているか。 	20
	(4) 効果測定	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者に対するアンケート調査等を実施し、本コースの効果を測定できる計画となっているか。 ・効果測定の方法、アンケート調査票、調査方法は適切であり明確化されているか。 	15
経費	経費見積		10
合計			100

○提案者が2者以上ある場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上の者のうち最も高い点を獲得した者を契約候補者として選定する。

○提案者が1者の場合は、各審査員による合計点が、満点の6割以上で、かつ審査員の合議により認められた者を契約候補者として選定する。

○原則として各項目5段階評価とする。(ただし、業務実績、経費見積を除く。) 15点、20点の配点箇所は、それぞれ5段階評価×3、×4と計算する。

(5 非常に優れている 4 優れている 3 普通 2 劣っている 1 非常に劣っている)

○経費見積は予定価格に対する見積金額の割合で審査を行う。

例：6点(98%<見積金額≤100%) 7点(96%<見積金額≤98%) 8点(94%<見積金額≤96%) 9点(92%<見積金額≤94%)
10点(見積金額≤92%)

○業務実績は、過去3年(令和5年4月1日から令和8年3月31日)までに完了した、国、地方公共団体等から受注した同種・同規模の業務の元請実績を評価する。(0件：0点、1件：1点、2件：2点、3件：3点、4件：4点、5件以上：5点)

○見積価格が委託上限額を上回るものは失格とする。